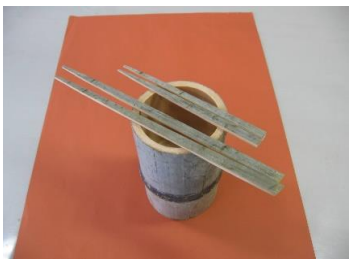


活動名		竹ばし				
概要	○竹の特徴を生かしながら竹ばしを創作する。					
ねらい	○竹の特徴を理解し、それを生かしながら創作する。 ○道具の特徴や使い方を理解し、正しく安全に取り扱う。 ○楽しく活動し、創作の喜びを味わう。					
関連教科等	図画工作・家庭・総合					
指導形態	①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う、③職員が指導を行う					
時期	通年	時間帯	日中		対象	高学年～
場所	創作棟	人数	～80人／1部屋		所要時間	1～2時間
準備物	施設で準備できるもの			団体・個人で準備するもの		
	材料、のこぎり、ナタ、小刀、サンドペーパー、木づち、マーカー、定規			なし		
進め方・展開例						
内容				留意点		
活動前	○事務室で打合せを行う。 ○ねらい、活動の進め方			○職員の指導が活動の説明のみの場合は、説明後の進め方、片付け方を確認する。		
活動の説明	○竹の特徴や道具の取り扱い方を説明する。 ○作り方を説明する。			○刃物の取り扱いに十分注意させる。 ○小刀は、使うときだけ鞘から出し、自分の肩幅内で操作することを伝える。また、脇をしめて扱うよう指導する。		
展開	①班で協力して、竹を切る。 ②班の人数分のはしができるように、ナタで竹を割る。 ③小刀で竹を削って、はしの形をつくる。 ④サンドペーパーで磨いて完成。 ⑤片づけをする。			○役割分担をし、交代しながら竹を切る。		
まとめ	○活動をふりかえり、よかったことや楽しかったことなどを発表し合う。					
評価	○竹の特徴を理解することができたか。 ○道具の特徴を理解し、正しい使い方を習得することができたか。 ○楽しみながら作品づくりに取り組むことができたか。					
発展	○炊飯活動等と組み合わせることで、より一層つくる喜びは増すと考えられる。					